※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 109 |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 明解　歴史総合　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会に至るまでの歴史的過程を理解し、平和で民主的な社会を形成するために何が必要か考えよう。
・現代世界の諸課題が形成された歴史的背景について理解を深め、歴史的な見方・考え方を働かせて課題について考察しよう。

## ２　学習の到達目標

(1) 現代の諸課題の歴史的経緯に関する基本的な知識を身に着け、その諸課題について、多角的な視点から理解を深める。
(2) 写真や図表・史料の読み解きから、歴史的事象の特徴を考察する力を養う。
(3) 当時の人々が直面した課題について、当時の状況を踏まえながらどのような判断をしたのか主体的に考えることができる力の育成を目指す。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な 視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。<br>諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、 比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・ 多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を 主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い 理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や 他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 1部 | 1　歴史と私たち<br><br>2　歴史の特質と資料<br>・資料を取り扱ってみよう<br>・歴史叙述とは何か考えてみよう | a: 身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の重要性と、事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解している。<br>b: 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。<br>c: 歴史と自分のかかわりについての気づきや資料の読み取りについて、粘り強く取り組もうとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート） |
| | 2部　近代化と私たち　序章　近代化への問い | ・近代化について考察していこう！ | a: 近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。<br>b: 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。<br>c: 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br><br>授業での取り組み |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1章　江戸時代の日本と結び付く世界 | 1節　アジアの中の江戸幕府<br>2節　成熟する江戸社会<br>3節　清の繁栄と結び付く東アジア<br>4節　アジア･アメリカに向かうヨーロッパ | a: 18 世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料 を読み取り、理解している。<br>b: 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずか らの言葉で表現している。<br>c: 18 世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |
| 1学期 | 2章　欧米諸国における近代化 | 1節　イギリスの革命とアメリカの独立<br>2節　フランス革命<br>ヨーロッパ近代の幕開け<br>3節　フランス革命の影響と国民意識の芽生え<br>4節　産業革命で変わる社会<br>5節　イギリスの繁栄と国際分業体制 | a: 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。<br>b: 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |
| | 3章　近代化の進展と国民国家形成 | 1節　1848年　近代ヨーロッパの転換点<br>2節　イタリア･ドイツの統一とロシアの近代化<br>3節　アメリカの拡大と第 2 次産業革命<br>4 節　帝国主義と世界の一体化 | a: 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。<br>b: 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4章　アジア諸国の動揺と日本の開国 | 1節 「西洋の衝撃」と西アジアの変化<br>2節 南・東南アジアの植民地化<br>3節 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争<br>4節 黒船の来航と日本の対応<br>5節 新体制の模索と江戸幕府の滅亡 | a: 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。<br>b: 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察 し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようと している。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |
| 2学期 | 5節 近代化が進む日本と東アジア | 1節 新政府の誕生<br>2節 近代国家を目指す日本<br>3節 日本と清の近代化と日清戦争<br>4節 列強の中国進出と日露戦争<br>5節 日露戦争が与えた影響 | a: 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。<br>b: 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち　序章　国際秩序の変化や大衆化への問い | ・20世紀前半の世界<br>・「国際秩序の変化や大衆化」について考察していこう！ | a: 国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に 取り扱う技能を身に付けている。<br>b: 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を 読み解く問いを表現している。<br>c: 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br><br>授業での取り組み |
| 2学期 | 1章　第一次世界大戦と日本の対応 | 1節　ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張<br>2節　総力戦となった第一次世界大戦<br>3節　ロシア革命と対戦の終結 | a: 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。<br>ｂ:第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域 の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現し ている。<br>c: 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br><br>授業での取り組み |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ２章　国際協調と大衆社会の広がり | 1節　ヴェルサイユ体制の成立<br>2節　東アジアの民族自決の行方<br>3節　中東･インドの民族自決の影響<br>4節　ヨーロッパの復興と大衆の政治参加<br>5節　大衆社会の出現とアメリカの繁栄<br>6節　日本における大衆社会の形成 | a: ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。<br>b: 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、２０世紀前半における大衆社会の到来が、現代社 会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |
| ２学期 | ３章　日本の行方と第二次世界大戦 | 1 節　世界恐慌が与えた影響<br>2 節　ファシズムの台頭と拡大<br>3 節　政党政治の断絶と満州事変<br>4 節　日中戦争の始まり<br>5 節　第二次世界大戦の展開<br>6 節　戦局の悪化と被害の拡大<br>7節　第二次世界大戦の終結とその惨禍 | a: 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。<br>b: ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4章　再出発する世界と日本 | 1節　戦後の新たな国際秩序<br>2節　冷戦の始まり<br>3節　日本撤退後の東アジア<br>4節　日本の改革と独立の回復 | a: 冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。<br>b: 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が 人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題 について追究しようとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br><br>授業での取り組み |
| 3学期 | 4部　グローバル化と私たち　序章　グローバル化への問い | ・20 世紀後半以降の世界<br>・「グローバル化」について考察していこう！ | a: グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能 を身に付けている。<br>b: 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問い を表現している。<br>c: 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>ワークシート（プリント・ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br><br>授業での取り組み |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1章　冷戦で揺れる世界と日本 | 1 節　アメリカ･ソ連の緊張と緩和<br>2 節　冷戦下における日本の復興<br>3 節　第三勢力の形成と脱植民地化<br>4 節　中東戦争とパレスチナ問題 | a: 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動き について、資料を読み取り、理解している。<br>b: 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |
| 3学期 | 2章　多極化する世界 | 1 節　揺らぐアメリカと先進各国の変化<br>2 節「経済大国」日本の模索<br>3 節　経済発展に取り組むアジア･南米諸国<br>4 節　イスラーム復興と冷戦への影響 | a: 冷戦下の１960 年代から 80 年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。<br>b: 各国の選択を比較し「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。<br>c: 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しよう としている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |
| | 3章　グローバル化のなかの世界と日本 | 1 節　冷戦の終結と変わる世界構造<br>2 節　冷戦の終結が与えた世界への影響<br>3 節　超大国アメリカと中東情勢<br>4 節　国際環境の変化と日本<br>5 節　グローバル化による国際社会の変容 | a: 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。<br>b: グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。<br>c: 冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート（プリント･ノート） | ワークシート（プリント・ノート）<br>授業での取り組み |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度